

## ●大佛先生講演の概要

### ①建物の倒壊と街路内閉じ込めの危険

東京都が平成24年に公表した首都直下地震による方南一丁目地区の想定震度が、震度6弱から6強に見直されたことから、地区内の昭和56年6月以前に建築された旧耐震基準の木造建物の全壊率は約10倍に高まりました。建物が倒壊して道路がふさがれると、家屋から出られても街路内に閉じ込められてしまいます。

### ②延焼の危険と、道路拡幅、沿道建物の不燃化

方南1丁目地区について、震度6強でシミュレーションすると、100ケース中19ケースで延焼被害が確認されました。ケースによっては糸魚川大規模火災（平成28年）よりも延焼が広がる可能性がみられましたが、主な道路を幅員6mに拡げて沿道の建物を不燃化すると、延焼が抑えられることもわかりました。

### ③木密地域の防災まちづくりの視点

木密地域では特に、消火・救援・広域避難のための防災生活道路（6m道路）の確保と、沿道の不燃化が重要です。また、その道路まで出られるよう行き止まり道路の解消も必要です。

## ●座談会でのおもな質問と回答

### <建替え困難について>

Q 敷地が未接道のため建替えができない場合は、どうしたら良いでしょうか？

A 接道している敷地の建物と共同建替えを行うことで、建替えができます。防災まちづくりを進めることで、共同建替えの支援が可能となります。

### <道路について>

Q まずできることは何でしょうか。空き家の除去や突出電柱の改善か？

A 色々なことが考えられますが、まずは地区内に空家や倒壊の危険性があるブロック塀や突出電柱などがどれだけあるのか、みなさんと総点検をして、課題を共有してみたいかがでしょうか。

### <消火活動について>

Q 防災訓練をしても人が集まりません。

A 延焼シミュレーションも、共助が前提条件にあります。防災訓練による意義を伝え、参加意欲を高めあっていくことが大切です。

## 問合せ先

杉並区 都市整備部 市街地整備課 不燃化推進係  
住所：〒166-8570 杉並区阿佐谷南1丁目15番1号  
TEL：03-3312-2111（代表） FAX：03-5307-0690




- ✓ 木密地域の人的被害は建物倒壊と延焼で決まる
- ✓ 火災の延焼速度は歩行速度よりもはるかに遅い（⇒早く避難できれば助かる）
- ✓ 倒壊建物は狭い道路を閉塞させる
- ✓ 建物内だけでなく街路内にも閉じ込められる

### 木密地域における防災まちづくりの視点

- ✓ 緊急車両の通行、円滑な消火・救援活動、広域避難が可能な6m以上の道路整備
- ✓ 沿道建築物の不燃化・耐震化
- ✓ 防災生活道路（6m道路）までの避難経路の確保

**大佛俊泰先生**  
東京工業大学教授。建築計画都市計画が専門。巨大地震を想定した地域防災計画のための基礎研究として、避難行動などに関する数値シミュレーション分析を試みている。




発行日：平成31年3月 発行：杉並区都市整備部市街地整備課不燃化推進係 編集協力：(株)都市環境研究所

## 防災まちづくり勉強会と不燃化セミナーのご報告

平成29年9月に立ち上げた「方南一丁目地区防災まちづくり勉強会」では、今年度4回の勉強会を開催しました。

また、平成31年2月には、方南一丁目地区にお住まいの方を対象に、東京工業大学の  
大佛先生による防災まちづくりの講演会・座談会を開催しました。

## 勉強会 方南一丁目地区防災まちづくり勉強会の活動

平成30年度は、4回の勉強会を開催しました。

昨年度に引き続き5月に開催した第4回では、世田谷区太子堂地区の視察の振り返り、方南一丁目地区での防災まちづくり活動の進め方について意見交換しました。

第5回から第7回は、地区の課題や防災まちづくりのテーマについて、意見交換しました。



第4回勉強会では模造紙に意見を整理



第5回勉強会の様子



第6回勉強会では、地図を見ながら気になるところなど意見交換を行いました。

## 不燃化 セミナー

## 方南一丁目地区防災まちづくりについての講演会・座談会

2月3日（日）、方南市民集会所で不燃化特区における防災まちづくりについてのセミナーを開催しました。

東京工業大学の  
大佛先生に、方南一丁目地区における延焼シミュレーションを実演して頂き、防災まちづくりを考えるうえでの大事な視点について講演して頂きました。大佛先生を囲んだ座談会では、多くの質問が寄せられ、ひとつひとつ丁寧にご回答いただきました。

詳しくは④ページをご覧ください。



講演会の様子

# 勉強会 地区の防災まちづくりの課題を検討しています

今年度は、方南一丁目地区の防災まちづくりの課題について、勉強会を重ねてきました。勉強会では、好きな場所や気になる場所の写真を撮ってきたり、道路等の現況図を見たりしながら意見交換しました。今年度の勉強会と不燃化セミナーにより、方南一丁目地区の災害時の安全、日常の暮らしやすさ、住民のきずなや危機意識等について、大事にしたいことや課題が具体的にってきました。



**一緒に考えてみませんか？**  
 日頃から気になっていた、興味あるという方はぜひ、勉強会にご参加ください。  
 詳しくは、4ページ下に記載の杉並区市街地整備課不燃化推進係までお問い合わせください。

## 災害時の安全

・燃えないまちづくりと、どうやって逃げるか、生き延びるかの両方を考える

### 避難ルート

#### 狭あい道路

- ・道幅が狭い私道の整備が進まない
- ・家屋が倒壊すると避難できない
- ・敷地が狭く拡幅すると住み続けられない
- ・拡幅に時間がかかるなら無電柱化を



#### 行き止まり路

- ・行き止まり路が多い
- ・火事になったら、奥の家の人が逃げられない
- ・人は通れても車は行き止まりの道もある
- ・行き止まり解消の話し合いを



#### 階段

- ・段々畑が分譲された所の階段
- ・一段一段が大きく避難や救急が大変



- ・道路拡幅は、中野区の南台や渋谷区、世田谷区との連続性が大事
- ・方南小に避難する道が狭い、滑りやすい、遠回り、神田川が溢れないか不安



#### 建替え困難

- ・敷地が接道していないため建て替えができない

#### 不燃化・延焼拡大防止

- ・指定容積率を変えてビルが増えるようにするなど、ダイナミックにできないか
- ・延焼危険性低減のためには公園、広場の用地取得が大事だが、財政的に難しいのか

#### 避難先

- ・方南小以外にも避難できないか
- ・大きな公園に避難できるようにしたいが、広い場所がない
- ・駐車場に変わる場所を広場にできないか
- ・近場のRC造の建物との協定で一時的な避難場所を増やせないか

## 住民のきずな 危機意識

- ・これまで大火災がなく危険の実感がない
- ・多くの住民は自分の近所しか知らない
- ・防災訓練をしても人が集まらない
- ・どうしたら災害時に怪我人を出さない地区になれるのか
- ・町会より小さい単位でつながりをつくれぬか
- ・新住民との関係づくりにプライバシーの問題がある

## 日常の暮らしやすさ

### 残したい緑

- ・中央公園のこんもり見えるケヤキ3本
- ・図書館の細道の並木
- ・お稲荷さんの桜
- ・清掃事務所前の桜
- ・個人宅やマンションの大きな木
- ・大きな木は木陰が涼しい、風が通る
- ・相続で分割されるとなくなる
- ・マンションの屋上も緑化できるとよい



### 商店街

- ・商店が減って駐車場が増えた
- ・高齢者が買物できなくなってしまう



## 突出電柱やゴミ・防犯・防災問題

### 突出電柱

- ・角切りや建物が後退しても電柱が残る（※）
- ・救急車が入れない

### ゴミや空き家

- ・自分たちの住む家やまちを大切にできないか



### ドンキホーテ裏のゴミ・防犯・防災問題

- ・細くて行き止まりの道が多い
- ・消防や救急の車が入れない
- ・狭い、暗い、汚い道になり、防災、防犯、衛生面でよくない

- ・私の沿道全員の賛同がないと、ゴミ収集車が入れない
- ・ゴミ収集車が入れない所のゴミが防災機材庫前に捨てられてしまう

※これからの防災まちづくりの取組のひとつとして、突出電柱について地域住民、事業者、区で話し合いを進めています。